

臨床実習

地域連携

《担当者名》 教授/長澤 敏行 nagasawa@ 教授/古市 保志 furuichi@ 教授/斎藤 隆史 t-saito@
 教授/越野 寿 koshino@ 教授/永易 裕樹 nagayasu@ 教授/齊藤 正人 msaitoh@
 教授/伊藤 修一 shu@ 講師/川西 克弥 kawanisi@ 講師/村田 幸枝 y-murata@
 助教/富田 侑希 tomitayu@

【概要】

臨床実習 の地域連携 では、地域医療を担う歯科クリニック・病院歯科・訪問歯科診療で包括的な歯科治療を実践するための基本的な知識・技能・態度を修得する。

【学修目標】

臨床実習 で学習した各分野の基本的診療についての知識、技術、態度を統合し、包括的な歯科医療を実践するための知識、技術、態度を修得する。

地域連携医療を実践するための知識、技術、態度を修得する。

歯科医師臨床研修及びその後の進路のあり方について修得する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

指定期間内に課題を行い、その総合成績をもって評価する。

【教科書】

5年次までに使用した教科書、資料すべて

【学修の準備】

提示した課題について学外実習後毎回レポートを作製する。（30分）

診療予定内容について、十分に復習する。（60分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1．人々のライフステージにおける疾患の予防、診断および治療を実践するための基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健、歯科医療技術を修得している。

DP2．「患者中心の医療」を提供するために必要な高い倫理観、豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。

DP3．疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる能力を身につけている。

DP4．歯科医療の専門家として、地域的、国際的視野で活躍できる能力を身につけている。

DP5．チーム医療（保健と医療と福祉）において協調し建設的に行動できる態度と能力を身につけている。

【実務経験】

指導歯科医講習会を修了し、臨床研修指導歯科医の要件を満たす歯科医師が担当している。

【実務経験を活かした教育内容】

大学病院、歯科クリニックでの実務経験を活かし、地域連携医療を担う歯科医師、スタッフなどとともに、包括的な歯科医療の実践について教授する。